

Catalogue No.

20631-10



北欧では、その長い冬の期間の多くを家で過ごします。必然的に家具や食器などの調度品にこだわり、自分たちの暮らしの意味をそこに见いだします。それは、茶道具を使って、心を落ち着かせ、心を交わす「茶の湯」の精神に通じるモノがあります。お茶を淹れ家族での会話の時間、友人との会話の時間に重きを置く。遠く離れた、私たちはある種制限された状況の中で、同じような極致に達していると言えます。

お茶を淹れる時間

HYGGE

幸せを感じる」

お茶を点てることも

お茶を淹れることも

単に飲み物を作る以上の意味がある。

どちらも瞑想的であり、

心の平穏や調和など、

精神的なアプローチを伴っている。

